



# 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月8日

上場会社名 リバーエレテック株式会社  
コード番号 6666 URL <https://www.river-ele.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萩原 義久  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 天野 伸幸  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月6日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 0551 - 22 - 1211

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,742	1.9	45		44		41	
2024年3月期中間期	2,795	30.7	8	98.8	38	95.5	107	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 167百万円 (485.2%) 2024年3月期中間期 28百万円 ( 96.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	5.06	
2024年3月期中間期	12.61	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	10,895	4,574	42.0
2024年3月期	10,179	4,448	43.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,574百万円 2024年3月期 4,448百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		5.00		5.00	10.00
2025年3月期		5.00			
2025年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.5	77		88		85		10.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	8,692,652 株	2024年3月期	8,692,652 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	462,686 株	2024年3月期	462,598 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	8,230,045 株	2024年3月期中間期	8,511,885 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2024年12月13日(金)に開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における経済環境は、設備投資や生産の持ち直しの動きから緩やかな成長が見られたものの、ロシアおよび中東地域での地政学的な不安定さが続くなか、物価の上昇や主要国の中央銀行による金融引き締め策の影響により、景気の先行きが不透明な状況で推移しました。当社グループの属する電子部品業界におきましては、AI関連の需要が増加しましたが、依然として中国などの一部において景気の弱さが見られ、市場全体としては弱含みで推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、中期戦略である「音叉型水晶振動子の圧倒的シェアの獲得・維持」「ATカット水晶振動子の収益力の強化」「新素子デバイスの量産化技術の確立」を推進し、モビリティ・医療ヘルスケア・IoT無線通信・航空宇宙/次世代デジタルインフラ市場を注力領域とした事業(製品)ポートフォリオの最適化を図るとともに「持続可能な経営基盤の確立・強化」に注力し、企業価値向上を目指しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は医療ヘルスケア向けが好調に推移したものの、一部無線通信向けにおいて在庫調整が長期化している影響を受け2,742,511千円(前年同期比1.9%減)となりました。利益面では中期経営計画達成の為に設備投資や新素子デバイスの研究開発費といった先行コストが大幅に増加したことから営業損失45,633千円(前年同期は8,863千円の営業利益)、経常損失44,004千円(前年同期は38,118千円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純損失41,656千円(前年同期は107,317千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては、当中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の「水晶製品事業」及び「その他の電子部品事業」の2区分から、「水晶製品事業」の単一セグメントに変更しております。詳細は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(セグメント情報等)」の「(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加211,214千円、受取手形及び売掛金の増加309,987千円、商品及び製品の増加104,347千円、仕掛品の減少101,533千円、機械装置及び運搬具の増加153,808千円、建設仮勘定140,021千円の増加等により、前連結会計年度末から716,877千円増加し、10,895,878千円となりました。

負債合計は、短期借入金の増加159,656千円、設備関係電子記録債務の減少146,277千円、長期借入金344,138千円の増加等により、前連結会計年度末から590,277千円増加し、6,321,200千円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定212,523千円の増加等により、前連結会計年度末から126,599千円増加し、4,574,677千円となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は54,737千円(前年同期は379,378千円の獲得)となりました。これは主に減価償却費287,883千円、売上債権の増加279,989千円、未収消費税等の減少156,824千円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は537,673千円(前年同期は471,717千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入による支出753,666千円、定期預金の払戻による収入739,294千円、有形固定資産の取得による支出507,094千円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果獲得した資金は487,791千円(前年同期は180,325千円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の増加159,656千円、長期借入れによる収入1,100,000千円、長期借入金の返済による支出717,847千円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表した2025年3月期通期(2024年4月1日~2025年3月31日)の連結業績予想を修正しました。詳細は、本日(2024年11月8日)公表した「業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,765,968	2,977,182
受取手形及び売掛金	868,271	1,178,259
電子記録債権	7,242	4,187
商品及び製品	254,219	358,567
仕掛品	717,745	616,211
原材料及び貯蔵品	967,335	1,012,652
その他	468,046	268,763
貸倒引当金	△27,010	△30,598
流動資産合計	6,021,818	6,385,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	610,219	664,662
機械装置及び運搬具(純額)	1,970,069	2,123,877
工具、器具及び備品(純額)	128,725	127,838
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	108,797	104,333
建設仮勘定	629,623	769,644
有形固定資産合計	3,862,864	4,205,786
無形固定資産		
ソフトウェア	4,553	20,735
その他	9,466	12,896
無形固定資産合計	14,019	33,631
投資その他の資産		
投資有価証券	123,247	121,438
繰延税金資産	49,985	60,559
その他	107,066	89,237
投資その他の資産合計	280,299	271,234
固定資産合計	4,157,183	4,510,652
資産合計	10,179,001	10,895,878

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,913	256,521
電子記録債務	84,324	100,666
短期借入金	457,662	617,319
1年内返済予定の長期借入金	1,237,827	1,275,842
未払法人税等	9,514	18,992
賞与引当金	144,057	119,725
役員賞与引当金	7,812	3,906
設備関係支払手形	48,402	56,459
設備関係電子記録債務	263,553	117,275
その他	514,830	661,793
流動負債合計	2,990,897	3,228,502
固定負債		
長期借入金	2,200,294	2,544,432
長期未払金	-	1,600
繰延税金負債	47	396
役員退職慰労引当金	140,760	144,580
退職給付に係る負債	306,384	312,986
その他	92,538	88,704
固定負債合計	2,740,025	3,092,698
負債合計	5,730,923	6,321,200
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,681,829	1,681,829
資本剰余金	643,845	643,845
利益剰余金	2,168,954	2,086,147
自己株式	△250,306	△250,345
株主資本合計	4,244,323	4,161,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,523	29,444
為替換算調整勘定	171,232	383,755
その他の包括利益累計額合計	203,755	413,200
純資産合計	4,448,078	4,574,677
負債純資産合計	10,179,001	10,895,878

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,795,488	2,742,511
売上原価	2,142,426	2,090,023
売上総利益	653,061	652,488
販売費及び一般管理費	644,198	698,121
営業利益又は営業損失(△)	8,863	△45,633
営業外収益		
受取利息	10,550	16,810
受取配当金	1,241	1,583
為替差益	39,457	-
受取補償金	-	9,569
その他	10,544	4,084
営業外収益合計	61,793	32,046
営業外費用		
支払利息	23,849	22,647
為替差損	-	6,521
自己株式取得費用	6,642	-
その他	2,047	1,250
営業外費用合計	32,539	30,418
経常利益又は経常損失(△)	38,118	△44,004
特別損失		
固定資産除却損	2,766	0
固定資産売却損	2	-
特別損失合計	2,769	0
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	35,349	△44,004
法人税、住民税及び事業税	12,949	6,465
法人税等調整額	129,717	△8,813
法人税等合計	142,666	△2,348
中間純損失(△)	△107,317	△41,656
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△107,317	△41,656

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△107,317	△41,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,590	△3,078
為替換算調整勘定	121,400	212,523
その他の包括利益合計	135,991	209,445
中間包括利益	28,673	167,788
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	28,673	167,788



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	35,349	△44,004
減価償却費	271,536	287,883
貸倒引当金の増減額(△は減少)	390	77
賞与引当金の増減額(△は減少)	46,179	△24,331
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,272	△3,906
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,100	5,420
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	449	6,602
受取利息及び受取配当金	△11,792	△18,393
支払利息	23,849	22,647
為替差損益(△は益)	△32,191	△24,946
有形固定資産売却損益(△は益)	2	-
有形固定資産除却損	2,766	0
自己株式取得費用	6,642	-
受取補償金	-	△9,569
売上債権の増減額(△は増加)	△253,148	△279,989
棚卸資産の増減額(△は増加)	32,367	△36,876
仕入債務の増減額(△は減少)	30,840	49,876
未収入金の増減額(△は増加)	△1,856	902
未払金の増減額(△は減少)	△8,844	△5,045
前受金の増減額(△は減少)	△6,306	4,559
未収消費税等の増減額(△は増加)	229,867	156,824
その他	13,975	△58,494
小計	372,905	29,234
利息及び配当金の受取額	11,792	18,381
利息の支払額	△20,547	△25,712
法人税等の支払額	△30,346	△8,835
法人税等の還付額	45,574	32,100
補償金の受取額	-	9,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	379,378	54,737
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△673,304	△753,666
定期預金の払戻による収入	636,935	739,294
有形固定資産の取得による支出	△430,110	△507,094
有形固定資産の除却による支出	△2,277	-
有形固定資産の売却による収入	294	-
無形固定資産の取得による支出	-	△13,672
投資有価証券の取得による支出	△3,076	△2,595
その他	△180	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△471,717	△537,673
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	54,875	159,656
長期借入れによる収入	900,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△443,492	△717,847
自己株式の取得による支出	△247,644	△38
リース債務の返済による支出	△14,372	△12,828
配当金の支払額	△69,040	△41,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,325	487,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	89,799	156,341
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	177,786	161,197
現金及び現金同等物の期首残高	1,826,363	2,012,328
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,004,150	2,173,526

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計基準の適用が中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
給与手当等	164,668千円	173,372千円
賞与引当金繰入額	37,945	28,819
退職給付費用	4,322	3,595
研究開発費	121,080	173,970
減価償却費	7,742	6,232

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	2,762,758千円	2,977,182千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△758,608	△803,656
現金及び現金同等物	2,004,150	2,173,526

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)  
「II 当中間連結会計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。
- II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)  
当社グループは、水晶製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の「水晶製品事業」及び「その他の電子部品事業」の2区分から、「水晶製品事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、前連結会計年度において、経営資源の最適配分と経営の効率化を目的として、連結子会社であるRiver Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.の解散に伴い、抵抗器等を含む「その他の電子部品事業」の量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントを単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により、当社グループは「水晶製品事業」の単一セグメントとなることから、前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間のセグメント情報の記載を省略しております。